2017年3月発行 第13号

発行責任者

粕屋町議会議員 福永善之 ^{ふくながよしゆき}

粕屋町仲原二五二五-一-五〇||

町民の皆さんへ

町長や議員の仕事とは、「何」なん

でしょうか。

〇〇を無料にします、〇〇を造り

なのでしょうか?

と考えています。

将来へのツケで行政サ

あなたの子供や孫の世代に残されていきます。

私の世代でそれを止める・変える責任が

ます、、、何もせずにお金が入ってき

設が出来たり、とても聞えがいいバ

たり、

自分の居住している近くに施

ラ色のような政策です。

しかし、何か忘れていませんか。

バラ色の政策には、 税金 という

です。

"タダ""無料"

お金が大量に必要です。

住民の意識改革を求めたい、

今の粕屋町議会は、 税金のことは

称して、あれもやれ・これもやれ、 議論の対象にならず、『町民の声』と

行政サービスは、

の組織となっております。

肝心な支払いの議論は、いつも後

る事案が多すぎるのです。

こんな組織が、粕屋町の未来を方

機関なんです。

このような組織に対し、一言も文句

も言わない・言えない立場であるの

回しで、将来世代へのツケで対応す

るのは、あなたです。

費するような町長や議員を選んでい

向付ける、粕屋町の意思決定の最高

将来世代のあなたの子供や孫は、

あなたに嫌われたくない 町長や議員は

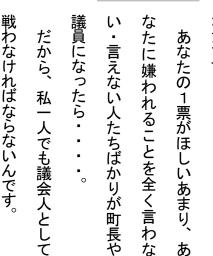
選することが目標になっている粕屋 粕屋町の将来のためではなく、

なたです。 町の選挙制度を作っているのは、 あ

あなたの1票がほしいあまり、 あ

町長や議員を選んだのは、 自分のカネだったら使わないのに、 あなたの責任です

えに、税金を自分のカネのように浪 不特定多数が納めた税金であるがゆ



主張 福永の主義、

- マキコは質問しない

LV

福永の優先課題

の成立を国に働き掛けていくことだ。 人の平均寿命は80歳を超えた。 医療技術の進歩や食生活の改善で、

ぬ、という考えが否定されがちだ。 ら好きなように生き、好きな時に死 に対し、一方では、自分の人生だか 『長生きして下さい』と一方的なの

る程度の年齢に達した人には、『死ぬ 死を助長するつもりはないが、あ

権利』を認めてやるべきだ、と思う。

粕屋町の議員として、 福永の優先課題

にサービス料を払う、『受益者負担』 行政サービスを受ける人が基本的

地方議員として、

死を選択できる、尊厳死法 (仮称)

また、世の中の風潮は、 高齢者に

制度は税負担の公平性の観点から良 あり、受益者でない人が払い続ける

くない、と思う。

を振り返りました 議員活動4年間

私は、 平成25年4月に施行され

①いかなる組織・団体に頼らない た粕屋町議会議員選挙では

②選挙事務所は設置しない

の考えを議会に浸透させていくこと

③うるさい街宣車を持たない

だ。

粕屋町議会の中では、 多種多様な

んが多々いらっしゃる。 『住民の福祉』を訴えられる議員さ

⑥後援会組織を持たない

の6点を基本に立候補しました。

⑤公費負担の選挙葉書は使わない

④迷惑千万の電話作戦はしない

現在は、それらのサービスを必要

としない方が受益者と同じような税

選、完全一人選挙を実行しました。

結果は、議会最年少で2期目の当

選挙費用は、13,

580円

議会では、資産家、

組織・団体の

負担を強いられる傾向がある。

いサービスには多大なカネが必要で 問題は、福祉の名の下に制限のな

代弁者、地域の有力者、行政経験者、

など、が多数を占め、

しがらみを持

たない私の発言を思わしく思わない

勢力が存在しました。

考えや自分の言葉を持てない人は、 議員4年間を振り返ると、自分の

町民の代表者になるべきではない、

と感じました。

最後に、私は、 議員として、 皆さ

0万円の報酬を頂きました んの税金から、4年間で約1, 6